

令和7年度 第1回 神奈川県立舞岡高等学校
学校運営協議会 議事録

《開催日時》

令和7年6月24日（火） 於 舞岡高等学校 多目的室 15：40～16：40

《出席者》

学校運営協議会委員（5名/敬称略・50音順）

明治学院大学文学部教職課程主任教授	石井 久雄
戸塚区役所保険年金課長	河合 利充
神奈川県立舞岡高等学校PTA会長	芹澤 順子
ひざり連合自治会長	宮島 由美子
神奈川県立舞岡高等学校長	宇田 雅則

舞岡高等学校（10名）

副校長	桐谷 鋼哉（司会進行）
教頭	清野 暁文
総括教諭（学習支援G）	遠藤 隆一
総括教諭（広報・研究G）	岡野 祐也
総括教諭（キャリア支援G）	大川 和裕
総括教諭（活動連携G）	松野 幸成
総括教諭（指導支援G）	小林 恒平
教諭（学校管理G）	中込 圭佑
教諭（学校管理G）	園田 碧（記録）
教諭（学校管理G）	鍋谷 敦子（記録）

《欠席者》（4名）

舞岡台自治会長	川上 浩
横浜市立南舞岡小学校長	地主 佐和子
横浜市立日限山中学校長	馬場 理人
横浜スポーツ&医療ウェルネス専門学校	松尾 信

1 学校運営協議会委員委嘱

校長より学校運営協議会委員（出席者）へ委嘱状をお渡しする。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

2 校長あいさつ

今年度・来年度の学校運営に関して、委員の皆様から様々なご意見を賜り、より良い学校となるよう尽力していきたい。

3 学校運営協議会の開会にあたって

学校運営協議会委員のご紹介、本校事務局紹介、会長、部会長の選出（敬称略）

学校運営協議会会長 石井 久雄

学校評価部会長 石井 久雄

地域連携部会長 川上 浩

4 報告

創立 50 周年記念事業について

副校長より

- ・ 6 月 13 日（金）鎌倉芸術館にて開催
- ・ 資料「神奈川県立舞岡高等学校創立 50 周年記念行事アンケート」に 446 名の回答あり。
約 70%が記念式典の内容について「よかった」と回答した。
- ・ 「タウンニュース（戸塚区版）」で舞岡高校特集ページが発行された。
- ・ 式典終了後の祝賀会には多数の OB の方々の参加があった。

参加委員より

- ・ 三味線、フラメンコ等、素晴らしいパフォーマンスだった。在校生によるパフォーマンスも生徒たちに一体感があってよかった。
- ・ ダンス部、フォークソング部のパフォーマンスに感動した。分教室のことを詳しく知ることができてよかった。

5 協議

(1) 舞岡高等学校の学校運営について

ア 令和 6 年度活動報告

イ 令和 7 年度の主な活動予定及び検討課題

[学習支援グループ]

- ・ 昨年度は全教室に電子黒板が導入され、授業の在り方に変化が生まれた。
- ・ 昨年度から引き続き、授業改善に関する取組みを実施している。
- ・ 広報・研究グループと連携し、組織的な授業改善に取り組んでいく。

[指導支援グループ]

- ・ 昨年度は登下校指導やルールへの遵守に関する指導に注力してきた。地域の方から登下校に関してご意見を賜ることもあったため、引き続き指導していく。

- ・ SC、SSW と連携し、生徒の支援を行っていく。

[活動連携グループ]

- ・ 体育祭は予定通りに実施はできなかったものの、生徒が自主的に活動し臨機応変に行動した。既に来年度の準備を開始している。
- ・ 体育祭では PTA（学年委員会・広報委員会）との連携も行った。
- ・ 文化祭は昨年度 3000 人超が来場し、コロナ前の活気を取り戻してきている。現在今年度の企画を計画している。
- ・ 学校行事を通して地域の方に認められるような学校にしていきたい。
- ・ 分教室との連携を引き続き行っていく。

[キャリア支援グループ]

- ・ 生徒の目標進路を実現するため、進路への意識づけを積極的に行う。
- ・ 生徒が目標に向かってどのように進んでいくべきかをアドバイスできる環境づくりに注力していく。
- ・ 夏期講習などで多様なキャリアに触れることで、生徒に刺激を与えたい。

[広報・研究グループ]

- ・ ICT 機器の更なる活用を模索している。
- ・ ロイロノートや電子黒板を活用し、学習支援と連携して授業改善に取り組む。
- ・ 総合的な探究の時間の研究指定校として、マイオカプロジェクト等に注力していく。
- ・ 総合的な探究の時間での学びを教科横断的に活用できるような取り組みを行う。
- ・ HP の更新頻度を高め、学校の情報を発信していく

[学校管理グループ]

- ・ 多くの生徒の尽力によって創立 50 周年記念式典を無事終えることができた。
- ・ 引き続き公共の場の使用状況の改善のため、生徒中心に美化への意識啓発を行う。

[管理職]

- ・ 昨年度より行ってきた「不祥事ゼロプログラム」の昨年度結果を HP に掲載予定。今後も引き続き不祥事を未然に防ぐ取り組みを行っていく。
- ・ 働き方改革を最重要課題と捉え、学校目標として取り組んでいく。

[質疑応答・ご意見・感想]

【委員より】

総合的な探究の時間で生徒が作成した冊子が興味深かったため、昨年度のものも見せてほしい。

【学校より：広報・研究グループ】

次回、昨年度のものを持参します。

【委員より】

昨年度の生徒指導に関して、校内で大きな指導を行ったことがあれば報告してほしい。

【学校より：指導支援グループ】

人間関係に関連する大きな指導は起こらなかったが、いくつか指導を行った事例があった。

【委員より】

働き方改革に関して、どのような対策を行なっているか知りたい。

【学校より：副校長】

- ・積極的な休暇取得を促す声掛けを行っている。
- ・電子黒板などのデジタルツールの活用により授業準備の効率化を図っている。
- ・定期試験採点システムの導入など、デジタル化による業務の効率化を図っている。

【委員より】

電子黒板がどのようなものか知りたいため、授業参観の機会があれば参加したい。

【学校より：副校長】

今回は授業見学の時間を確保できなかったが、次回以降は設ける方向で調整する。

【委員より】

マイタケプロジェクトとはどのようなものか知りたい。

【学校より：活動連携グループ】

- ・舞岡高校の敷地内の竹林を様々な手段で有効活用する取り組みを行っている。
- ・生徒会、地域連携委員会、分教室生徒会の生徒と協力して活動している。
- ・毎年7月に行っている「竹の宴」では、竹を切り出してピロティに立て、全校生徒・職員が短冊を飾っている。

【委員より】

分教室とは具体的にどのような交流があるか知りたい。

【学校より：活動連携グループ】

- ・学校行事などを主に、学校生活の様々な部分で連携して活動している。
- ・今年度の体育祭では初めての取り組みとして応援パフォーマンスに和太鼓を使用する演舞を導入したが、和太鼓を分教室から借用した。
- ・文化祭では企画として武道場でボッチャを行っている。また、ボッチャは球技大会で舞岡高校との対抗戦も行い、交流を深めている。

【委員より】

自身の進路の方向性を決めるまで、生徒たちはどの程度時間を要するのか知りたい

【学校より：キャリア支援グループ】

- ・生徒によっては早い段階から進路への明確な意識を持っている者もいるが、多くは3年間かけてキャリア意識を形成していくため、生徒が進路を意識するきっかけを与える取り組みを行っている。
- ・インターンシップを通して多様なキャリアの提案を行なっているが、夏季休業中のため参加者が少ない。

6 部会打合せ

地域連携部会

【委員より】

生徒と地域が関わる機会はどの程度あるのか知りたい。清掃活動は今も行っているのか知りたい。

【学校より】

- ・以前は地域清掃活動を行っていたが、コロナウイルスの影響で中止になってしまった。徐々

に地域と関わる機会を増やしていきたいと考えている。

- ・部活動生徒が地域のイベントに参加する機会を増やしていきたいと考えている。
- ・地域探究で地域の事業所などと交流を行っている。各事業所に生徒が訪問し、インタビューを行い、記事を作成している。例年夏季休業後から活動を始め、11月頃にインタビューを実施している。

【委員より】

地域で開催するイベントの参加者募集案内を学校宛てに送付しているが、どのように対応してもらえるのか知りたい。

【学校より】

参加が可能な部活動の顧問に配布し、参加を促している。

【委員より】

清掃活動は学校で行っているか知りたい。

【学校より】

地域貢献活動として実施している。

【委員より】

SNS の使用方法など指導を行っているか知りたい。

【学校より】

適宜機会を設け、指導している。

【委員より】

18 歳成人に関する指導を行っているか知りたい。

【学校より】

参議院選挙(3年に1回)に際し、授業内で模擬投票を実施するなどの取り組みを行っている。

学校評価部会

【委員より】

教職員の勤務軽減につなげるため、自動採点、部活動の外部指導員の積極的活用を期待したい。

【学校より】

- ・生徒が卒業後の進路を考える上で、さまざまな機会を提供していきたい。
- ・穏やかに学校生活を送っている生徒が多い中、周りに関心をもてない生徒も少なからずいる。大人になるための指導も必要と考える。
- ・教職員の働き方改革の一環として、自動採点を導入している。

7 事務局から

(1) 今後の日程について連絡

第2回 11月28日(金) 予定

第3回 2026年3月中旬頃予定

(2) 校長よりお礼の言葉

閉会